

1 単元名 (小数) × (整数), (小数) ÷ (整数)

2 単元の見どころ

- ・ 小数の仕組みや計算のきまりを用いて, (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) の計算の仕方を考えようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・ (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) の計算の意味やその仕方について, 整数の場合をもとにしたり, 小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えることができる。 (数学的な考え方)
- ・ (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) の計算ができる。 (表現・処理)
- ・ (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) の計算の意味やその仕方を理解する。 (知識・理解)

3 単元について

本単元は, 小数の演算適用の場を乗除に広げることがねらいである。扱う計算は, (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) で, しかも10分の1の位までの小数と限られている。したがって, 立式の根拠については, 第4学年までの学習の範囲で十分理解できる。よって, ここでは, 計算の仕方の獲得に重点をおいた展開が図れるように構成されている。1小数のかけ算, 2小数のわり算という2つの小単元からなり, いずれの単元も, はじめに小数の仕組みに基づいて計算の仕方を考える場を設け, その後, 形式的な処理方法である筆算を学習するものである。中学校に向けて基礎的な計算力を高めるために, 確実な定着を図ることが要求される。

4 児童について

算数の授業のはじめに行う5分間ドリルに, どの子も集中して取り組み, わり算やかけ算の筆算を真剣に練習している。また, 第1単元の「小数」では, 小数の表し方に興味を持ち, 生活の中で進んでさがしたり用いたりする姿が見られた。しかし, 理解の早さや定着度には個人差があり, 個別指導が必要な子もいる。

整数のかけ算やわり算については, これまでの学習で十分な経験を積んでいる。一方, 小数については, 第4学年の「小数」で, 加減計算が整数の場合と同じ原理, 手順でできることを理解している。また, 5年生の「小数」では, 100分の1の位, 1000分の1の位までの小数の仕組みや表し方について考え, 整数や小数についての相対的な見方を学習してきた。

プレテストの結果, 小数の10倍・100倍, 10分の1・100分の1について, 数名ずつほどの間違いがあった。また, 0.1で何個や0.01で何個という相対的な見方も不十分であった。そこで, 位取り表などを使い, 十進位取り法を意識しながら処理させたい。

5 指導について

算数は毎時間, 担任と少人数指導担当の2人が指導に当たっている。単元の内容に応じて少人数指導とTT指導を組み合わせている。

本単元は, 計算の意味やその計算の仕方, 及び筆算による求答方法について, (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) に広げていくものである。

まず, 具体的な適用場面での立式に関しては, その場を想定し, 単位を意識させながら指導に当たりたい。次に, (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) の計算では, 単位の考え方に基づけば整数の時と全く同じように処理できることを押さえる必要がある。そして, 筆算の処理については, 手順を形式的に押さえるのではなく, 単位の考え方から整数の場合に

準じて考える過程を大切にし、できるだけ児童が筆算の仕方を見出していくようにしたい。

本単元の計算は、(小数)×(小数)や(小数)÷(小数)の計算につながるものであり、また、日常生活でも使用頻度の高い計算である。それで、確実に間違えないでできるという力を身につけさせたい。そのために、難解な問題を多くさせるのではなく、1問ずつ確実に計算させ、自信をつけさせることが大切であると考えられる。また、筆算の書き方、ノート の使い方を徹底させるためにも、できるだけ個別指導をしたい。

6 指導計画(12時間配当)

1時(TT) 2・3時(少人数) 4~6時(TT) 7~10時(少人数) 11・12時(TT)

時	学習内容	ねらい	関	考	表	知	評価規準
1	(小数)×(整数)になる場面を考える。計算の仕方を理解する。	(小数)×(整数)の意味を理解し、その計算ができる。	◎		○	○	かけ算の仕方を進んで見つけようとする。 計算の仕方を理解し、正しく計算ができる。
2	(小数)×(1位数)の本筆算の仕方を理解する。	筆算の仕方を考えることができ、筆算の仕方を理解し、計算ができる。		◎	○	○	筆算の仕方を考えることができる。 正しく計算ができる。
3	(小数)×(2位数)の筆算の仕方を理解する。	(小数)×(2位数)の筆算の仕方を理解し、計算ができる。			◎	○	筆算の仕方を理解し、正しく計算ができる。
4	練習(p.45)	(小数)×(整数)の計算や適用題ができる。		○	◎		(小数)×(整数)を正しく計算でき、適用題を考えることができる。
5	(小数)÷(整数)の計算の仕方を理解する。	(小数)÷(整数)の計算の意味を理解し、その計算ができる。	◎		○	○	わり算の仕方を進んで見つけようとする。 計算の仕方を理解し、正しく計算ができる。
6	(小数)÷(整数)で、商が小数になる計算の仕方を理解する。	÷(整数)で、商が小数になる計算の仕方を理解し、その計算ができる。		◎	○	○	0.1や0.01を単位にした仕方を理解し、正しく計算ができる。
7	(小数)÷(1位数)の筆算の仕方を理解する。	筆算の仕方を考えることができ、筆算の仕方を理解し、計算ができる。		○	○	◎	(小数)÷(1位数)の筆算の仕方を理解し、正しく計算ができる。
8	(小数)÷(2位数)の筆算の仕方を理解する。	(小数)÷(2位数)の筆算の仕方を理解し、計算ができる。			◎	○	(小数)÷(2位数)の筆算の仕方を理解し、正しく計算ができる。
9	わり進む場合の筆算の仕方を理解する。	わり進む場合の筆算の仕方を理解する。			◎	○	わり進む場合の筆算の仕方を理解し、正しく計算ができる。
10	商を概数で表す筆算の仕方を理解する。	商を適当な位までの概数で表す筆算の仕方を理解する。			○	◎	商を概数で表す筆算の仕方を理解し、正しく計算ができる。
11	練習(p.53)	(小数)÷(整数)の計算や適用題ができる。		○	◎		(小数)÷(整数)を正しく計算でき、適用題を考えることができる。
12	学習内容の自己評価						

7 本時の目標

(小数) × (1 位数) の筆算の仕方を理解し, その計算ができる。

8 準備物

1 ㊟ます 位取り表 数字カード

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援 (・) と評価 (☆)																		
<p>○ 5 分間ドリルをする。</p> <p>○ 提示された問題を読んで, 立式する。 ポットが 6 つあります。1 つのポットに 2.3 ㊟ずつお茶を入れていくと, 全部で何㊟になりますか。</p> <p>○ 前時の学習内容をもとに, 計算する。 2.3 × 0.1 が 23 こ 2.3 × 6 × 0.1 が (23 × 6) 2.3 × 6 = 13.8 13.8 ㊟</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.3 ㊟の量感をつかませる。 ・ 同じポットのお茶 6 つ分の分量を求めることから, かけ算の問題であることに着目させる。 ・ 2.3 を 2 と 0.3 に分けて考える児童があれば取り上げて, その違いを考えさせ, 筆算につながる考え方であることに気づかせる。 ・ 「0.1 が 138 こ」を位取り表で確かめさせる。 																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">(小数) × (整数) の筆算のしかたを考えよう。</div>																			
<p>○ 2.3 × 6 を筆算の式に書く。</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">2. 3</td> <td style="text-align: right;">2. 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">× 6</td> <td style="text-align: right;">× 6</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; width: 100px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; width: 100px;"></td> </tr> </table> <p>○ 筆算の計算の仕方を確認する。</p> <p>○ 三桁 × (1 位数) の例題を解く。</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">2 1. 3</td> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">2 1. 3</td> <td style="text-align: right;">2 1. 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">× 4</td> <td style="text-align: right;">× 4</td> <td style="text-align: right;">× 4</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; width: 100px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; width: 100px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">8 5 2</td> <td style="text-align: right;">8 5. 2</td> </tr> </table> <p>右に数をそろえる。順々にかける。小数点をうつ。</p> <p>○ ③ の練習をし, 計算方法を確かめながら, 答え合わせをする。</p> <p>○ 小数の場合でも, 整数と同じように計算して小数点をうつことをまとめる。</p>	2. 3	2. 3	× 6	× 6			2 1. 3	2 1. 3	2 1. 3	× 4	× 4	× 4					8 5 2	8 5. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整数のかけ算の筆算を想起させる。 ・ 筆算の書き方は, 23 × 6 と関連づけながら扱い, 末尾をそろえることに気づかせる。 <p>☆ 0.1 の何個分で考えると, 整数と同じように計算ができることに気づいているか。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自力解決させ, 理解を深めさせる。 ・ 小数点をうつ位置については, 0.1 がいくつということを位取り表で確かめさせる。 ・ 小数点をうつ位置を間違えたり, 小数点をうち忘れたりしないように注意を促す。 <p>☆ 桁数が増えても, 0.1 の何こ分と考え, 正しく計算ができているか。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 板書を利用して, 本時のまとめをする。
2. 3	2. 3																		
× 6	× 6																		
2 1. 3	2 1. 3	2 1. 3																	
× 4	× 4	× 4																	
	8 5 2	8 5. 2																	